

農林水産省 食料産業局長賞

たいき産直市「愛たい菜」 愛媛県大洲市（おおずし）

子ども達に笑顔を届ける学校給食

組織概要

○代表者 店長 武知 寿明
○構成員 生産者600名

○所在地 愛媛県大洲市
○活動開始年 平成22年



表彰理由

- JA愛媛たいきの直売所「愛たい菜」は平成22年4月にオープンし、売り上げ金額、来場者数ともに順調に拡大している。当市は県内有数の野菜産地だが、供給体制や受入体制が整わずに本格的な地産地消の学校給食は実現に至っていなかった。そのため、直売所の開設を契機に、平成23年より学校給食への食材供給体制の構築に関する検討を開始した。
- 平成23年に約2ヶ月間の供給実証実験を実施し、その実証結果を踏まえて本格導入に至った。愛たい菜出荷者協議会に「学校給食部会」を設置し、24年4月より本格的に学校給食の地産地消を進めている。
- 地産地消率（生鮮野菜・果物の重量ベース）が平成20年度の18.1%から平成24年度は62.1%と大きく伸びたことはもとより、子ども達に自分達が作った安全・安心な地場農産物を食べさせることが地域の生産者の意欲の向上につながったことは生産振興の面からも大きな効果として評価できる。

取組内容

1. 「愛たい菜」を地産地消拠点とした直売活動

「愛たい菜」は大洲市の地産地消拠点施設としてJA愛媛たいきが整備した直売所（出荷登録者は約600名）。特に、高齢・小規模生産者の生産・出荷能力の向上や加工品の製造・販売を目的に設置されている。

2. 学校給食・病院等への地元食材の供給

大洲市学校給食地産地消推進戦略会議のメンバーとして、PFI方式で設置された大洲市学校給食センターに対し、地元農産物を安定供給している（食数は一日約4,300食）。食材の利用者との情報交換を密に行い、出荷者には学校給食への食材供給の意義と必要性を伝え、安定供給体制の構築を図っている。特に学校給食における生鮮野菜等の使用実績と直売所の販売実績を照らし合わせ、供給実現性の見える化や課題の抽出を常に進めている。現在は、学校給食の他、市内2病院、1公立施設にも食材供給を行っている。

3. 地域農業の生産振興と生産意欲の向上

給食という新たな販路の確立や地産地消率の向上という数値的な成果に止まらず、子ども達に自分達が作った安全な農産物を食べさせたいという目標が生産者に芽生え、生産意欲の向上につながっている。また、従来作付されていなかった作物（人参等）も学校給食向けに生産が始まり、新たな収入源と期待されている。さらに、従来共販品として出荷できなかった規格外品の活用も進んできている。